

江中、古賀さんが入賞

集積回路の全国コンテスト



有明高専電気工学科五年生の江中祐貴さん(二〇)がパソコンの集積回路の計算速度などを競う全国的なコンテスト「平成二十五年度演算増幅器設計コンテスト(主催、応用科学学会)」で七位に入賞した。電気工学科からの入賞は初めて。ほかにも専攻科一年生の古賀圭祐さん(二二)が同じコンテスト

のほかの部門で四位と五位に入賞した。

電気工学科で初めて入賞した江中さんは、これまで電子情報工学科から入賞はありましたが電気工学科からは私が初めてと聞き、ビックリしました」と話した。

コンテストは全部で五部門あり、江中さんは回路の消費電力を抑える設計部門で見事七位に入賞した。四月からは大手の半導体検査企業に就職します。開発希望なのでコンテストに入賞した経験を生

かして、みんなの生活が便利になるような回路を設計できればと思います」と話した。

古賀さんは、コンピューターに、より小さく入力した電気信号を大きく出力する設計部門と、コンピューターの立ち上がりを早くする部門で見事入賞した。

二か月ぐらいかけて設計しました。回路設計やレイアウトを考え、実際に起動し想定どおりに動くのかを確認するのは楽しいですね。四月からは高専生活の集大成、研究テーマを早めに決めて、大学院に進学できるように頑張りたいです」と語った。

古賀圭祐さん 有明工業高等専門学校専攻科一年生 応用科学学会主催



の演算増幅器コンテストで入賞しました。五部門の

3面

日刊大年田

2014年1月22日(水曜日)

2面

おびただサロン

うち二つの部門で四位と五位にそれぞれ入賞しました。入賞の知らせを聞いたとき、やはり嬉しかった。将来は、大学院に進

ですね。コンテストは電子回路を設計するもので、私はコンピューターの入力する信号を小さくし、出力